

2014年1月23日
一般社団法人粒子線がん治療患者支援センター
株式会社ジェイティービー

JTB グループは粒子線がん治療患者支援センターと提携し、 海外のがん患者の本格的な受入れを開始

～ 現地セミナーやプロモーションも展開 ～

株式会社ジェイティービー（東京都品川区）の海外の患者の医療コーディネート部門である「ジャパン・メディカル&ヘルスツーリズムセンター（以下 JMHC）」は、日本の先端治療である重粒子線治療を希望する患者の支援事業を行っている一般社団法人粒子線がん治療患者支援センター（東京都千代田区）と提携し、北米、中国、ロシアをはじめとする海外のがん患者に対する重粒子線治療の受入れ体制の取り組みを強化します。

本提携により、海外のがん患者の受け入れをスムーズに行えるようにするため、JMHC は、海外のがん患者が治療を受けるために必要な治療以外の医療通訳・翻訳、コンシェルジュサービス、医療滞在ビザ取得等の手続・渡航手配を行うための体制整備と海外へのプロモーションを行っていきます。

●粒子線がん治療患者支援センターと提携して提供するサービス

- ①医療機関マッチング ②医療滞在ビザ取得サポート ③医療通訳派遣・アテンド
- ④来日から帰国までの滞在等のアレンジ ⑤治療後の経過観察

また、中国市場においては、JMHC が提携する北京 21 世紀病院など北京市内の医療機関、上海森茂診療所など上海市内の医療機関と連携し、中国人患者様等に向けたセミナーや WEB プロモーションを展開してまいります。

2014年度は、中国も含めた世界各国より500人の相談の受付を予定しています。

<一般社団法人粒子線がん治療患者支援センターについて>

同センターは、東京のホテルニューオータニ1階に設立された日本初の英語での相談も可能な重粒子線治療専門医による「粒子線がん相談クリニック」の運営をサポートしています。また、同クリニックでセカンドオピニオンの実施により重粒子線治療適応と判断がされた場合は、日本の重粒子線治療施設への送患者をサポートする機関です。

<ジャパン・メディカル&ヘルスツーリズムセンター（JMHC）について>

同センターは、2010年に株式会社ジェイティービーが設置した、海外から日本の先進医療を求める外国人患者に対するサポートサービスを行う専門部署です。

<重粒子線治療の治療費と周辺サービスについて>

現在日本で稼働している4つの重粒子線施設では、海外のがん患者においても治療費が全額自己負担となります。

そして、海外のがん患者を受け入れる際には、医療コンシェルジュによるスムーズな対応、事前の問診や通訳・翻訳、治療後の経過観察などきめ細かなケアが必要となります。そのため、治療費以外にこれら特別対応を行う為の一定の費用を加味していきます。このことは、国が成長戦略に位置づけている「国際医療交流」と歩調をあわせた推進となります。

<報道関係の方からのお問合せ先>

JTB広報室 03-5796-5833

<渡航サポートに関するお問い合わせ先>

ジャパン・メディカル&ヘルスツーリズムセンター（JMHC）

03-5796-5620

担当：高橋、松嶋

<http://jp-jmhc.com/> jmhc_info@web.jtb.jp

<重粒子線治療に関するお問い合わせ先>

一般社団法人粒子線がん治療患者支援センター

03-3239-0348

担当：田中、小堀